

はじめに	1
<b>成長を促す生徒指導</b> 児童生徒の「自律性」と「社会性」の育成を、授業と特別活動を中心に行います！	
成長を促す生徒指導へ ～視点の転換～	2
成長を促す生徒指導へ ～4つの視点で自律性・社会性の育成～	2
授業で生徒指導！ ～リーフレットの関連から～	3
特別活動で生徒指導！ ～児童生徒が自らの手で～	3
<b>「授業」で成長を促す生徒指導</b> 授業と4つの視点の関係や、授業で行う生徒指導のポイントを説明します！	
<b>【理論編】</b>	
成長を促す生徒指導の授業実践 ～やり切る視点①～	4
成長を促す生徒指導の授業実践 ～やり切る視点②～	4
成長を促す生徒指導をスタートするに当たって	5
生徒指導ガイドブック ～実践例の見方(授業編)～	5
<b>【実践例(授業編)】</b>	
小学校・算数<導入> = 目的意識の醸成 =	6～7
小学校・算数<展開> = 協同性の育成 =	8～9
小学校・算数<まとめ> = 自己決定を促す =	10～11
中学校・国語 = 目的意識の持続 =	12～13
中学校・数学 = 自己決定を促す =	14～15
中学校・理科 = 協同性の育成 =	16～17
中学校・保健体育 = 自己決定を促す =	18～19
小学校・総合的な学習の時間 = 目的意識の継続 =	20～21
<b>「特別活動」で成長を促す生徒指導</b> 授業とはちがう、「自分たちの課題を自分たちの力で解決していく活動」の進め方を説明します！	
<b>【理論編】</b>	
特別活動で成長を促す生徒指導を ～望ましい集団活動～	22
望ましい集団活動のポイント ～その気にさせる・次につなぐ～	22
その気にさせる事前の活動と次につながる事後の活動	23
生徒指導ガイドブック ～実践例の見方(特別活動編)～	23
<b>【実践例(特別活動編)】</b>	
小学校・学級活動「学級目標をさめよう」	24～25
中学校・学級活動「学級の問題を解決しよう」	26～27
中学校・学校行事「体育祭を成功させよう」	28～29

## はじめに

いじめのない誰もが安心して楽しく活動できる学校づくりには、自分自身の興味・関心、個性・能力を存分に発揮できる場を保障することや、誰もが互いに認め合い、支え合い、高め合う温かな人間関係を構築することが不可欠です。このように、子どもが、自己存在感や充実感を感じられるように教育活動を組織することや、子ども同士が温かな人間関係を築いていくことができるように支援していくことは、教職員の責務であり、これからの生徒指導の在り方として強く求められていることです。

生徒指導は、教育活動全体で行うものであり、学校生活において、多くの時間を占める授業も、生徒指導を行う重要な場面です。日々の授業における、教師の働き掛けは、知識・技能の獲得や活用を図るための重要な手だてであるとともに、学習意欲を喚起したり、話し合う必然性を生み出したりするなど、子どもの心を動かすことにおいても重要な役割を果たしています。

本書では、これらことを、「新潟市の授業づくり」の5つの視点と、「新潟市の生徒指導」の4つの視点からとらえることによって、好ましい教師の働き掛けとして例示し、授業づくりと生徒指導の融合を促進することを目指しました。

一方、子どもたちが自ら目標を達成したり、課題を解決したりする力を高めるためには、学級活動や行事などの特別活動を充実させる必要があります。特に、人間関係のトラブルやいじめの問題に対応していくためには、子どもが自分たちの問題や課題を、自分たちの手で解決しようと計画し、実践し、振り返ることが必要です。そのためには、子どもたちの主体的・協同的な活動が成立するように、教職員が黒子の役割を担い、支援していくことが必要になります。そこで重要になるのが、特別活動における「事前」「事後」の活動の場面です。

本書では、期待する子どもたちの姿を示すとともに、その「事前」「事後」の活動における教師の働き掛けを例示し、特別活動の充実を図ることを目指しました。

生徒指導は、子どもが自発的かつ主体的に自己を成長させていく過程を支援するとともに、集団や社会の一員として自己実現を図っていく大人へと育つように促していく取組です。

本書が、「確かな学力の定着」や「望ましい人間関係の構築」の実現を目指して、日々努力されている教職員の皆様の取組の一助となれば幸いです。

平成26年4月

学校支援課長 高橋恒彦